

常に新たに

白糸だより(舞鶴市立白糸中学校)

通算 1404号令和2年3月24日発行

HP: <http://shiraito.maizuru.ed.jp>

学校教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる 生徒の育成

第72回(令和元年度)卒業証書授与式を行いました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、本市でも全ての小中学校で3月3日から3月23日までの期間臨時休業となりました。生徒の皆さんは経験したことがない年度末になってしまいましたが、感染予防の意識をもって生活してくれたことと思います。また、保護者の皆様には昼食の準備など急な対応をお世話になり、地域の皆様には、子ども達を温かく見守ってくださるなど、休校措置にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。まだまだ本市に感染が広がる可能性はあります。引き続き各家庭での感染防止に心がけていただきますようよろしくお願いいたします。

3月13日には第72回卒業式、そして今日は今年度を締めくくる修了式を行うことができました。当初はそれぞれの行事の開催も心配されましたが、換気、時間の短縮、マスクの着用など感染予防の対策をして、開催をすることができました。とりわけ、あたたかな春の日差しに包まれた13日に、3年生にとって人生の大きな節目となる卒業証書授与式を実施し、晴れの門出をお祝いできたこと本当にうれしく思います。最上級生として全校をしっかりとリードし新しい白糸の歴史を築いた152名の卒業生。笑顔で希望を胸に白糸中学校を巣立っていった皆さんの活躍を期待するとともに、いつまでも応援し続けます。卒業おめでとうございます。

8年前の東日本大震災、今回の新型コロナウイルス・・・、当たり前の日常、普通に生活できることの有難さを強く感じるとともに、日頃からの危機管理の大切さを痛感します。

明日からは、春休みとなり再び学校は休みになりますが、現時点では感染予防対策を図りながら部活動が再開するなど、徐々に通常に近付けていく予定にしています。春休み中の行事や新年度当初の予定につきましては、裏面でご確認ください。



第72回卒業証書授与式の様子

<卒業式：式辞より～抜粋～> 4月から、それぞれに夢と希望を持って、選んだ道を進んでいくわけです。しかし、その未来が、いつも順風満帆に、追い風を受けて、自分の思い通りに事が進むとは限りません。これからの厳しい時代を生き抜き、輝く未来を創るために2つのことをお話しします。

① 志を持ち挑戦してください。

「志」を持つことは、夢や希望に向かって自分を成長させるとともに、周りの人を幸せにし、世の中を、よりよく変える力にもなっています。素直な気持ちで自分を見つめ、「一生懸命」に自分を高めてください。江戸時代末に活躍したとされる坂本龍馬が言った有名な言葉があります。「世の中の人、何ともいわば言え、我がなすことは、我のみぞ知る」、他の人と違って良い、自分の決めた道を、自信をもって歩むことが大切であるということです。これから皆さんの前に立ちはだかる壁は、実は大きなチャンスの扉なのかもしれません。最後まであきらめないで粘り強く挑戦し続けてください。

② 人とのつながりを大切にしてください。

人間は自分以外の人とのつながりの中で幸せをつかむことができます。私たちは、大きな困難や問題を解決するとき、周りの人に相談したり、話し合ったり、助け合ったりします。人は一人では生きていけません。「相手の立場に立って物事を考えられる人」はこれから先、学校で、職場で、地域で、家庭で、多くの人とつながることができるはずです。今、スマホやタブレットなどでSNSなどのつながりもありますが、直接、顔と顔を見て言葉を交わすことがとても大切です。「挨拶をする」、「返事をする」、「お礼を言う」など、「感謝する心」「お互いを思いやる心」を言葉にしてしっかり伝えることです。そのことで、人と人をつなぐことができ、自分の人生を変えることにもつながります。

来年度も小中一貫教育を推進します。

令和元年度は、舞鶴市教育委員会指定「小中一貫教育モデル校区」として、新舞鶴小、志楽小と3校で協働した取組を行いました。取組の中心は「自ら課題を持ち、主体的に学びに向かう児童生徒の育成～個を活かし、学び合い、高まり合う授業の創造～」をテーマに、互いの授業見学や教科ごとによる話し合いを通して、授業の進め方や指導方法、児童生徒の共通理解や連携を図り、中1ギャップの解消に向けて取り組んでいきました。また、部活動見学、挨拶運動、人権学習の一環で中学生と小学生との交流会、3学期には、6年生が中学校での授業体験、中学校の授業や生活、学校行事の楽しさの紹介など、中学校への一日体験入学、など実施することができました。さらに、小・中学校が協力して課題を解決していくことで、教員同士の交流が深まり、より親近感が増して協力していこうという姿勢が育まれたのも大きな成果です。本校の保護者評価では、「小中一貫教育で小中の連携が進んでいると感じますか」⇒(73.3%)という肯定的な回答をいただいています。今後も、校区の児童・生徒のために小中一貫教育を充実させるとともに、地域やご家庭に取組内容を積極的に発信してまいります。1年間、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。次年度も、どうぞよろしくお願いいたします。 校長 廣瀬直樹・教職員一同

「パーティー(ついで)9万円相当」を寄付いただきました。

昭和33年度卒業同窓会の皆様から、後輩たちの教育充実に役立ててほしいと寄付をいただきました。パーティーは個別学習時や健康診断時等でプライバシーを確保するのにとても有効です。日々大切に活用させていただきます。この度の同窓会の皆様のお取り計らいに心から感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

第72回卒業証書授与式 新たなる青春の扉を開こう

【卒業生決意の言葉より】

「私たちは、1年生・2年生の手本にどれだけなれたのかな？
次はみなさんの番です。ベストを尽くして最高の先輩になってください。」

在校生は式に参加できませんでしたが、確実にその思いを引き継いだはず。さあ、「白系中学校の伝統と誇り」を創る1年の始まりです。



お世話になりました!

PTA企画委員会が開催できず、本部役員様にご確認いただきまとめとさせていただきます。決算総会は令和2年度の予算総会と併せて4月26日に行う予定です。本部役員の皆様、各委員の皆様には1年間お世話になりました。今後も本校の教育に、ご支援いただきますようお願い致します。

会長	前川達彦 様		
副会長	坂根 正 様	奥野美佳 様	
書記	山田知恵 様		
会計	稲田 大 様		
議長	梅田亜紀 様	前野 愛 様	
監事	松瀬寛樹 様		
会計監査	渋谷美喜 様	森田智広 様	

1年学年委員長	小松 健 様	副委員長	半林雄一郎 様
2年学年委員長	長岡大輔 様	副委員長	茶谷知之 様
3年学年委員長	山下奈美子 様	副委員長	野上 章 様
6組学年委員長	高橋敏一 様		
保体委員長	河野矢早苗 様	副委員長	田中景子 様
文化委員長	山中宏介 様	副委員長	杉本美緒 様
地域委員長	白井琴野 様	副委員長	奥本恵子 様 大西理恵 様 左近伸一 様

<新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応>

舞鶴市教育委員会より、次のように指示がありました。
部活動について

25日(水)より活動時間を1時間半程度として再開
離任式・着任式について

マスクを持参して登校してください。

入学式について

卒業式と同様に、新入生と保護者に限定して実施
未指導分の授業について

幾つかの教科で未指導の学習内容があることを確認
しています。未指導分はわずかですので、新学年の授
業の中で実施します。

* 始業式(4/9)以降は通常通りに戻る予定ですが、幾
つかの取組は実施時期等が変更になります。

* 修学旅行 舞鶴市内の全中学校とも秋以降に延期
本校は、9/29(火)~10/1(木)の予定

4月

行事予定



- 2日(木)PTA本部会
- 3日(金)離任式(8:40登校)
- 6日(月)着任式(8:40登校) 新2,3年クラス発表
- 9日(木)始業式 入学式準備 ノー部活デー
- 10日(金)入学式 部活動あり(午後)
- 13日(月)対面式・新入生オリエンテーション
4時間授業 給食なし ノー部活デー
PTA学年委員選挙開票
- 14日(火)5時間授業 給食・清掃開始 仮入部
本部会
- 15日(水)朝読書開始 5時間授業 仮入部
- 16日(木)全日授業開始 一斉クラブ会
心臓検診(1年)
- 17日(金)ノー部活デー
- 20日(月)PTA合同委員会・企画委員会
- 22日(水)ノー部活デー
- 23日(木)家庭訪問 (期間中は3限給食あり)
- 24日(金)家庭訪問
- 26日(日)授業参観・PTA総会(午前)
家庭訪問 (給食なし)
- 27日(月)家庭訪問
- 28日(火)振替休業日(4/26)
- 29日(水)昭和の日
- 30日(木)家庭訪問
- 5/1日(金)家庭訪問



活躍が見やすくなりました



資源回収収益
から作りました。
左上の2枚の看板「卒業おめでとう」「希望の明日へ」とあわせて、大会結果・

優秀作品の紹介だけでなく、学校の重点的取組や生徒会スローガンなどの掲示にも利用しようと考えています。資源回収へのご協力ありがとうございました。



<保護者のみなさまへ>

○昨年6月に「児童福祉法等の改正法」において、体罰が許されないものであると定められました。法律で体罰を禁止し、この2020年4月から施行となります。1人1人が意識を変えていくと同時に、保護者の皆様を支援し社会全体で「体罰によらない子育て」が進むようにしていかなくてはなりません。

○新型コロナウイルスのためにエネルギーが有り余っている子供たち。春休みに入りますが、交通安全には十分注意し、新学期へとつながる有意義な期間にしてください。お子さまのことで気になることがありましたら学校までご連絡ください。

